

1

(1)

$\sqrt{3}\sin\theta - \cos\theta$ を変形すると、

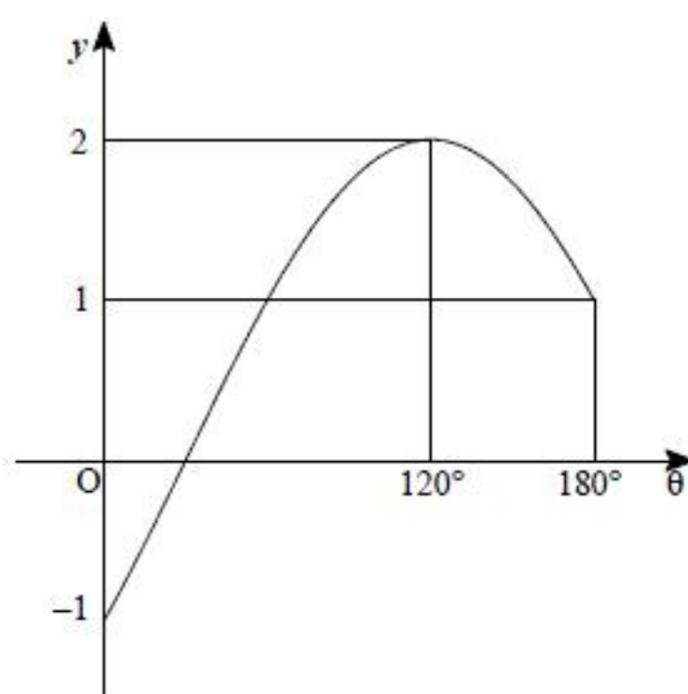
$$\begin{aligned}\sqrt{3}\sin\theta - \cos\theta &= 2\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\sin\theta - \frac{1}{2}\cos\theta\right) \\ &= 2\sin(\theta - 30^\circ)\end{aligned}$$

となる。

(答) $\sqrt{3}\sin\theta - \cos\theta = 2\sin(\theta - 30^\circ)$

(2)

(1)の結果より、 $y = 2\sin(\theta - 30^\circ)$ のグラフを考える。これは、 $y = 2\sin\theta$ のグラフを θ 軸方向に 30° だけ平行移動した曲線である。したがって、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ での範囲で図示すると以下のようなになる。



(答) 前図

(3)

t^2 を計算すると、

$$\begin{aligned}t^2 &= (\sqrt{3}\sin\theta - \cos\theta)^2 \\ &= 3\sin^2\theta - 2\sqrt{3}\sin\theta\cos\theta + \cos^2\theta \\ &= 1 + 2\sin^2\theta - \sqrt{3}(2\sin\theta\cos\theta) \\ &= 1 + 2 \cdot \frac{1 - \cos 2\theta}{2} - \sqrt{3}\sin 2\theta \\ &= 2 - (\sqrt{3}\sin 2\theta + \cos 2\theta)\end{aligned}$$

が得られる。これを与えられた式に代入すると、

$$\begin{aligned}f(\theta) &= a(\sqrt{3}\sin\theta - \cos\theta) - (\sqrt{3}\sin 2\theta + \cos 2\theta) + a + 1 \\ &= at + (t^2 - 2) + a + 1 \\ &= t^2 + at + a - 1\end{aligned}$$

となる。したがって、題意は示された。

(証明終)

(4)

(2)のグラフより、 t の値に対応する θ の個数は、

$$\left\{ \begin{array}{ll} t=2のとき & \thetaは1個 \\ 1 \leq t < 2のとき & \thetaは2個 \\ -1 \leq t < 1のとき & \thetaは1個 \\ -1 < t, 2 < tのとき & \thetaは0個 \end{array} \right.$$

となる。ここで、 $g(t) = t^2 + at + a - 1$ として変形すると、

$$\begin{aligned}g(t) &= t^2 + at + a - 1 \\ &= (t+1)(t+a-1)\end{aligned}$$

であるから、 $t = -1$ は $g(t) = 0$ の解である。 $f(\theta) = 0$ が異なる3つの解をもつには、 $g(t) = 0$ のもう1つの解が $1 \leq t < 2$ の範囲にあればよい。したがって、

$$\begin{aligned}1 &\leq 1 - a < 2 \\ \Leftrightarrow -1 &< a \leq 0\end{aligned}$$

が得られる。

(答) $-1 < a \leq 0$

(1)

$|\vec{a}|=6, |\vec{b}|=5, |\vec{a}-\vec{b}|=4$ であるから, $|\vec{a}-\vec{b}|^2$ を計算すると,

$$\begin{aligned} |\vec{a}-\vec{b}|^2 &= |\vec{a}|^2 - 2\vec{a}\cdot\vec{b} + |\vec{b}|^2 \\ \Leftrightarrow 4^2 &= 6^2 - 2\vec{a}\cdot\vec{b} + 5^2 \\ \therefore \vec{a}\cdot\vec{b} &= \frac{45}{2} \end{aligned}$$

が得られる。

$$\text{(答)} \quad \vec{a}\cdot\vec{b} = \frac{45}{2}$$

(2)

\overline{BC} について, 始点をOにそろえると,

$$\overline{BC} = \overline{OC} - \overline{OB}$$

となる。Cは辺OAを5:3に内分する点であるから,

$$\begin{aligned} \overline{BC} &= \overline{OC} - \overline{OB} \\ &= \frac{5}{8}\vec{a} - \vec{b} \end{aligned}$$

が得られる。したがって, $\vec{a}\cdot\overline{BC}$ を計算すると,

$$\begin{aligned} \vec{a}\cdot\overline{BC} &= \vec{a}\cdot\left(\frac{5}{8}\vec{a} - \vec{b}\right) \\ &= \frac{5}{8}|\vec{a}|^2 - \vec{a}\cdot\vec{b} \\ &= \frac{5}{8}\cdot 6^2 - \frac{45}{2} \\ &= 0 \end{aligned}$$

となる。 $\vec{a} \neq 0, \overline{BC} \neq 0$ であるから, $\vec{a} \perp \overline{BC}$ が示された。

(証明終)

(3)

$\vec{b} \perp \overline{AD}$ であるから,

$$\vec{b}\cdot\overline{AD} = 0$$

が成立している。 \overline{AD} について, 始点をOにそろえると,

$$\overline{AD} = \overline{OD} - \overline{OA}$$

となる。Dは辺OBを $t:(1-t)$ に内分する点であるから,

$$\begin{aligned} \overline{AD} &= \overline{OD} - \overline{OA} \\ &= -\vec{a} + t\vec{b} \end{aligned}$$

が得られる。ここで, $\vec{b}\cdot\overline{AD} = 0$ であるから,

$$\begin{aligned} \vec{b}\cdot\overline{AD} &= 0 \\ \Leftrightarrow \vec{b}\cdot(-\vec{a} + t\vec{b}) &= 0 \\ \Leftrightarrow -\vec{a}\cdot\vec{b} + t|\vec{b}|^2 &= 0 \\ \Leftrightarrow -\frac{45}{2} + 25t &= 0 \\ \therefore t &= \frac{9}{10} \end{aligned}$$

となる。

$$\text{(答)} \quad t = \frac{9}{10}$$

(4)

\vec{a}, \vec{b} は互いに一次独立であるから,

$$\overline{OH} = \alpha\vec{a} + \beta\vec{b}$$

と書ける。ここで, \overline{OH} を変形すると,

$$\overline{OH} = \left(\frac{8}{5}\alpha\right)\cdot\frac{5}{8}\vec{a} + \beta\vec{b}$$

とできる。ここで, 点Hは辺BC上の点であるから,

$$\frac{8}{5}\alpha + \beta = 1 \quad \dots \textcircled{1}$$

が成立する。また, \overline{OH} を変形すると,

$$\overline{OH} = \alpha\vec{a} + \left(\frac{10}{9}\beta\right)\cdot\frac{9}{10}\vec{b}$$

ともできる。ここで, 点Hは辺AD上の点であるから,

$$\alpha + \frac{10}{9}\beta = 1 \quad \dots \textcircled{2}$$

が成立する。①, ②を解くと, $\alpha = \frac{1}{7}, \beta = \frac{27}{35}$ が得られる。したがって,

$$\overline{OH} = \frac{1}{7}\vec{a} + \frac{27}{35}\vec{b}$$

となる。したがって,

$$\begin{aligned} \overline{OH}\cdot\overline{AB} &= \left(\frac{1}{7}\vec{a} + \frac{27}{35}\vec{b}\right)\cdot(\vec{b}-\vec{a}) \\ &= \frac{1}{35}\left(-5|\vec{a}|^2 - 22\vec{a}\cdot\vec{b} + 27|\vec{b}|^2\right) \\ &= \frac{1}{35}\left(-5\cdot 6^2 - 22\cdot\frac{45}{2} + 27\cdot 5^2\right) \\ &= 0 \end{aligned}$$

が得られる。 $\overline{OH} \neq 0, \overline{AB} \neq 0$ であるから,

$$\overline{OH} \perp \overline{AB}$$

となる。

(証明終)

(1)

直線 $x+y=k-1$ を直線 l_k ($k=1, 2, 3, \dots$) とする。直線 l_k 上には k 個の格子点がある。格子点 $(0, n)$ は $x+y=n$ 上にある。したがって、格子点 $(0, n)$ の番号は $x+y=k-1$ ($k=1, 2, 3, \dots, n+1$) 上にある格子点の数の和であるから、

$$\sum_{k=1}^{n+1} k = \frac{(n+1)(n+2)}{2}$$

となる。

$$\text{(答)} \quad \frac{(n+1)(n+2)}{2}$$

(2)

(1)の結果により、格子点 $(0, 27)$ の番号は、

$$\frac{28 \cdot 29}{2} = 406$$

である。格子点 $(2, 25)$ は格子点 $(0, 27)$ より番号が 2 番手前であるから、その番号は、

$$406 - 2 = 404$$

となる。

$$\text{(答)} \quad 404$$

(3)

(1)の結果により、格子点 $(0, m+n)$ の番号は $\frac{(m+n+1)(m+n+2)}{2}$ である。格子点 (m, n) は格子点 $(0, m+n)$ より番号が m 番手前であるから、その番号は、

$$\frac{(m+n+1)(m+n+2)}{2} - m$$

となる。

$$\text{(答)} \quad \frac{(m+n+1)(m+n+2)}{2} - m$$

(1)

放物線C上の点 $(t, t^2 + 1)$ を通る放物線Cの接線の方程式は,

$$y - (t^2 + 1) = 2t(x - t)$$

$$\Leftrightarrow y = 2tx - t^2 + 1$$

である。この直線が点A (a, a) を通るので,

$$a = 2at - t^2 + 1$$

$$t^2 - 2at + a - 1 = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

が得られる。①の判別式を D とすると,

$$\frac{D}{4} = a^2 - a + 1$$

$$= \left(a - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{3}{4}$$

$$> 0$$

であるから、①は異なる2つの実数解をもつ。①の方程式を解くと,

$$t = a \pm \sqrt{a^2 - a + 1}$$

が得られる。また、①式を変形すると,

$$t^2 - 2at + a - 1 = 0$$

$$\Leftrightarrow -t^2 + 1 = -2at + a$$

$$\Leftrightarrow -t^2 + 1 = a(1 - 2a \mp \sqrt{a^2 - a + 1})$$

が得られる。したがって、求める2直線の方程式は,

$$y = 2(a \pm \sqrt{a^2 - a + 1})x + a(1 - 2a \mp \sqrt{a^2 - a + 1})$$

となる。

$$\text{(答)} \quad y = 2(a \pm \sqrt{a^2 - a + 1})x + a(1 - 2a \mp \sqrt{a^2 - a + 1})$$

(2)

方程式①の2つの解を α, β ($\alpha < \beta$)とおく。すなわち,

$$\alpha = a - \sqrt{a^2 - a + 1}, \quad \beta = a + \sqrt{a^2 - a + 1}$$

とおく。このとき、(1)の2直線はそれぞれ,

$$y = 2\alpha x - \alpha^2 + 1$$

$$y = 2\beta x - \beta^2 + 1$$

となる。したがって、求める図形の面積 $S(a)$ は,

$$S(a) = \int_{\alpha}^a \{(x^2 + 1) - (2\alpha x - \alpha^2 + 1)\} dx + \int_a^{\beta} \{(x^2 + 1) - (2\beta x - \beta^2 + 1)\} dx$$

$$= \int_{\alpha}^a (x - \alpha)^2 dx + \int_a^{\beta} (x - \beta)^2 dx$$

$$= \left[\frac{1}{3}(x - \alpha)^3 \right]_{\alpha}^a + \left[\frac{1}{3}(x - \beta)^3 \right]_a^{\beta}$$

$$= \frac{1}{3}(a - \alpha)^3 - \frac{1}{3}(a - \beta)^3$$

$$= \frac{1}{3}(\sqrt{a^2 - a + 1})^3 - \frac{1}{3}(-\sqrt{a^2 - a + 1})^3$$

$$= \frac{2}{3}(a^2 - a + 1)^{\frac{3}{2}}$$

となる。

$$\text{(答)} \quad S(a) = \frac{2}{3}(a^2 - a + 1)^{\frac{3}{2}}$$

(3)

(2)の式を変形すると,

$$S(a) = \frac{2}{3}(a^2 - a + 1)^{\frac{3}{2}}$$

$$= \frac{2}{3} \left\{ \left(a - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{3}{4} \right\}^{\frac{3}{2}}$$

が得られる。したがって、 $S(a)$ を最小にする a は $a = \frac{1}{2}$ である。

$$\text{(答)} \quad a = \frac{1}{2}$$